



ポリシー提案の翻訳

APNIC 46 の [オープンポリシーミーティング](#) (OPM) が 2018 年 9 月 13 日にニューカレドニアのヌメアで開催され、4 つのポリシー提案が議論される予定となっています。以下がその要約です。

[prop-118](#): APNIC 地域におけるニーズ・ポリシーの撤廃

この提案は IPv4 アドレスを APNIC 地域に、または APNIC 地域内で譲渡する際に、ニーズを示す要件を除去するというものです。リソースが、ニーズ・ベースのポリシーを要求している RIR 地域からのものである場合には例外があり、その場合、受領者は、リソースの 50% 以上を 5 年以内に使用する計画を提出しなければなりません。このポリシーは、AS 番号の譲渡には適用されません。

[prop-124](#): IPv6 アドレスの再割り当ての定義の明確化

文書 [APNIC インターネット・ナンバー・リソース・ポリシー](#) の 2.2.3 における移譲された IPv6 アドレスの割り当ての定義を明確にするものです。

本ポリシーが作成された時点では、割り当て／再割り当ての定義においてホットスポットでの IP アドレスの使用、個人所有端末の業務利用(BYOD)でのゲストまたは従業員による IP アドレスの使用、または他の同様の事例は割り当てとみなされていませんでした。

本提案では、この観点からこのような状況を明確化し、その定義をさらに明らかにします。特に、“割り当て”の定義に加えられた付加的言語によって、IPv6(RFC8273)の新たな使用を考慮します。

[prop-125](#): “アビュースメールボックス”およびその他の IRT e メールバリデーション

インターネットコミュニティはコラボレーションに基づいています。しかし多くの場合これでは不十分であり、私達は皆、ネットワークの問題が発生している可能性があり、その状況を認識されていない LIR に連絡が取れる状態であればなりません。本提案は、この問題をシンプルで定期的な IRT オブジェクト e メールバリデーションによって解決し、こうしたバリデーションを実行するための基本的なルールを構築することを目的としています。その結果、特定のネットワークの乱用を解決する責任者に連絡を取る第三者に不必要なコストをかけることがなくなります。

[prop-126](#): PDP のアップデート

文書 [APNIC ポリシー策定プロセス](#) のセクション 4 のアップデートが提案されています。

本提案には、コンセンサスの決定にリストのコメントも考慮することから、より多くの参加が見込まれています。そのためコンセンサスはメーリングリストとフォーラムのバランスを取って決定されるため、コミュニティからの参加も増えることが予想されます。

以下の事項も提案されています。

- ポリシーSIG と APNIC メンバー・ミーティングで求められている“二重”コンセンサスを撤廃する
- 提案の提出期限を OPM 前の 4 週間から 1 週間に限定する
- 提案が OPM でコンセンサスに至る場合、SIG メーリングリストで配信する
- 提案者が、SIG チェアが PDP に違反したと考える場合、APNIC 理事に直接“アピール”するプロセスを導入する

提案の取り下げ

APNIC 44 および APNIC45 において議論された以下の提案は、現在提案者により取り下げられています。

- [prop-119](#): 一時的な移転
- [prop-120](#): 最後の/8 相当の IPv4 アドレス在庫枯渇後の計画
- [prop-123](#): 103/8 からの IPv4 アドレス移転禁止ポリシーの修正提案

ぜひご参加ください! あなたのご意見をどうぞ

これらのポリシー提案の議論に参加したい場合は、ポリシーSIG の [メーリングリスト](#) を購読し、[APNIC 46 ポリシー SIG](#) 会議に現地参加するか [遠隔参加](#) する必要があります。